

第 8 回沖縄県教育委員会会議（定例会）

1 日時 平成24年 6 月20日 15時00分～15時55分

2 場所 教育庁第 1 会議室

3 出席者

委員	安次嶺 委員（委員長） 中野 委員 新垣 委員 安里 委員 宮城 委員 大城 委員（教育長）	（欠席委員）
----	---	--------

教育 庁	統括監等	教育管理統括監、教育指導統括監、参事
	課長及び 班長等	総務課長、財務課長、施設課長、福利課長、 県立学校教育課長、義務教育課長、保健体育課長、 生涯学習振興課長、文化財課長
	職務のため 出席した者	（事務局） 総務課教育企画監、同課総務班主任（2名）、同課教育企画班指 導主事 義務教育課人事管理監、同課人事班主任、同班主任 県立学校教育課人事班主任、同班主任

4 傍聴した者

記者 2 人 / その他 0 人

平成24年第8回県教育委員会会議（定例会）

（開会15:00）

委員長	ただ今から平成24年第8回県教育委員会会議・定例会を開催します。 はじめに会期の決定を行います。本日1日を予定しておりますが、よろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	このとおり決定します。 次に第7回会議録の承認を行います。宮城委員お願いします。
宮城委員	正確に記載されております。
委員長	正確に記載されているとのことですので、承認してよろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	このとおり決定します。 今回の会議録署名人は、中野委員にお願いします。
中野委員	はい。
委員長	次に教育長報告に入ります。報告1について説明をお願いします。
教育長	（教育長報告1の説明） ・平成25年度（平成24年度実施）沖縄県公立学校教員候補者選考試験応募状況について
委員長	例年に比べて応募者は減少しているとはいえ、相変わらず高い競争率となっております。 御質疑ございますか。
新垣委員	「スポーツ・芸術での選考」に11名の応募があるが、文化面、スポーツ面と半々の割合で採用を考えているのか。
教育長	今回はスポーツ部門で8名、芸術部門では3名となっております。分野毎に（一部試験）免除者数の割合を定めているわけではございません。全体のバランスを考えて総合的な対応をしていきたいと考えております。
義務課長	補足ですが、（一部試験免除対象者の）基準がございまして、選定は基準に則っているかどうかで判断しております。
宮城委員	基準というのは、どのような基準か。
義務課長	例えば、スポーツ部門であればオリンピックや、世界大会等へ上位入賞しているという基準がございます。
中野委員	関連して質問するが、沖縄県では、オリンピックへ出場し優秀な成績を収めて、一次試験が免除となった事例はあるのか。また、現時点でそのような採用方法を採用している他県の事例はあるか。
義務課長	オリンピックではありませんが、スポーツ分野での免除対象者はいらっし

	<p>やいます。他県の状況については、データがなく把握しておりませんが、（沖縄県では）オリンピックで上位入賞したという事由で、一次試験が免除になったという事例はございません。また、選定の際は、論文等、人物も含めて総合的に審査しております。</p>
新垣委員	<p>確認だが、試験免除対象者も教員免許保持者ということではよかったか。</p>
義務課長	<p>はい。</p>
委員長	<p>他にございませんか。</p> <p>（しばし間があり）</p> <p>それでは、議事に入ります。本日は議案が3件となっています。なお、議案第2号から第3号は人事案件となっていますので非公開としたいと思います。よろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>異議なし。</p>
委員長	<p>このとおり決定します。</p> <p>それでは、議案第1号の説明をお願いします。</p>
総務課長	<p>（議案第1号の説明）</p> <p>・沖縄県教育振興基本計画（案）について</p>
委員長	<p>「沖縄県教育振興基本計画（案）」は100頁近い冊子となっておりますが、今回はコンパクトに要点をまとめて報告頂きました。</p> <p>計画（案）には「沖縄21世紀ビジョン」において「本ビジョンは県民全体で共有する、沖縄県の概ね20年後を目途とする将来像を示す」ものだと示されていることが記載されていますが、20年後はこのような教育の成果が期待出来るだろうと、想像しながらこの案を策定されたことと思います。</p> <p>（案は）非常に広範ですし、沖縄の地理的・歴史的な視点、国際交流も含めて、色々な教育計画、振興計画が盛り込まれております。沖縄のように資源に乏しい地域は、結局、ヒト・人材により将来が左右されるところがあります。計画（案）は大変な力作であります。今後どのようにこの案に沿って事業を進めていくのかも大変重要であると思います。</p> <p>御質疑ございませんか。</p>
中野委員	<p>「沖縄県教育振興基本計画（案）」には良い面が多く取り入れられている。長い間、幼児教育や食育についての項立てがないということを指摘されていたが、今回は「2自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実〔学校教育の充実〕」の中に、「（4）食育の推進」、「（5）特別支援教育の充実」、更に教育は幼児からということで「（6）幼児教育の充実」を項立てである。この三項目が入ったのは大変良かったのではないかと。</p> <p>また、総論の「3多様化、高度化する社会の変化に対応した教育の推進」</p>

	<p>の中で、アジアへの視点や外国語教育で英語だけでなく中国語も明記したとあり、つい最近も教育長が上海まで赴き、熱心に活動されているということで、私も非常に心を動かされている。</p> <p>質問であるが、沖縄県の英語立県については（計画（案）の）どこに記載されているのか。</p>
教育長	<p>総論の16頁にある「（１）国際社会に対応した教育の推進」の「基本的な考え方」の中で「英語立県沖縄推進戦略事業プロジェクト」の多面的な展開に取り組んでいくことが記載されています。</p>
委員長	<p>計画（案）については有言実行をしていかななくてはなりません、（高等学校における）「英語の授業は英語です」という項目は実施出来るのでしょうか。</p>
中野委員	<p>この質問に付随して、現時点で実施している高校はあるのか。</p>
教育長	<p>来年度から年次的に実施される高校の学習指導要領で「授業は英語で行うことを基本とする」と明記された背景を考えますと、我が国の英語教育はコミュニケーション能力の向上に課題があったと言わざるをえません。</p> <p>しかしながら、場面に応じた指導法は学校や生徒の状態に応じて様々な創意工夫がなされております。例えば文法事項について、どうしても日本語を使わざると得ないといった状況がある場合は、英語で展開するというよりは、日本語で展開する方が効果的な場合もあります。</p> <p>ある事項について教える際に、英語を使う必要があるのか、状況によっては日本語がふさわしい場面もありますので、この辺りは臨機応変に対応出来ていると思います。</p> <p>ですから、中野委員のご指摘にありましたように英語の授業は英語で行われているかという質問に対しては、基本的には実践されていると理解しております。</p>
委員長	<p>そうですね、100%英語で授業を行う必要はないと思います。沖縄県全体の高校でこのような授業が行われるということですね。</p> <p>しかし、当授業を実践するにあたり、教師はそれだけの力量をお持ちだと思いますが、生徒がその授業内容に対し、ついていけるだけの基盤を持っているのでしょうか。その点について現状を教えてください。</p>
教育長	<p>実は平成23年度より、小学校5年生から英語教育が導入されております。</p> <p>小学校の場合には、「英語によるコミュニケーション能力の素地を育む」ことを目標に、慣れ親しむという視点からの英語活動を行っています。</p> <p>中学・高校になりますと、「英語によるコミュニケーション能力を育む」ことを目標に「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4技能</p>

	<p>をバランスよく育成することを目指しています。更に時間数の増加に比例し、文法事項や語彙数も大幅に増えていきますので、そのようなことも踏まえながら授業を行っております。</p> <p>英語立県沖縄推進戦略事業の中では、二つの大きなキーワードを掲げております。まず一点目には、文部科学省が昨年度発表した「英語力向上のための5つの提言と具体的施策」の中で「生徒に求められる英語力について、その達成状況を把握・検証する」として提言されている、いわゆる「英語力の指標策定」がございます。どれだけ出来れば英語力があると言えるのか、これについては検証が不十分なこともあり、英語力をどういった視点で捉えるかは、日本全体として若干弱い部分がございます。その点につきましては、私たちは英語能力を示す資格試験の一つである英語検定（英検）を用い、発達段階に応じた英語力の指標を策定して参ります。</p> <p>二点目は「交流拠点の形成」です。授業では英語を使いますが、授業以外では英語を使う機会がありませんので、交流拠点を作っていく中で、学習した英語を使う場面をたくさん設けていこうというものです。</p> <p>この二点を推進しながら、英語立県沖縄を推進していきたいと考えています。</p>
<p>委員長</p>	<p>力強いご説明でした。</p> <p>喋ることが出来て、相手の話を聞くことの出来る、役に立つ英語が一番大切だと思います。そのためには、教育長がおっしゃっていたように、英語を練習する場があるかどうかです。</p> <p>沖縄県にはアメリカ人もいますし、大学院大学もあります。大学院大学では英語も日本語も互いに使えるような状況で講義等もあります。又、アミークスという立派な学校もあります。そのような学校と、県内の学校との交流事業を検討してみる等、沖縄県にある多様な教育資源を活用して頂きたいと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>今の件に付け加えますと、交流体験を体系的・組織的に構築することがこれからの日本社会においてとても大事な視点ではないかと思えます。</p> <p>中央教育審議会でも自然体験活動推進法が議論されていると伺っております。つまり、会話は出来るけれども対話が出来ない、あるいは一流大学を卒業したけれども社会に適応出来ない若者が増えている現状があります。この問題には様々な側面がありますが、やはり交流と体験を通して子どもたちにフェイス・トゥ・フェイスで、実際に対話をしていく機会を多く持つことは、今、現代社会の特徴であると言われている人間関係の希薄化や、規範意識がなかなか身につかない、あるいは、目標を持たない、といった課題を打</p>

	破していく最大の方法ではないでしょうか。そのような課題について、交流体験というキーワードを通して取り組んでいきたいという思いです。
委員長	とても重要な事項ですので、進んで取り組んで頂きたいと思います。他にございませんか。
安里委員	計画（案）に関しては特段意見はないが、先ほども委員長の発言にあったように、いかにこの計画（案）をしっかりと実行していくかであると思う。そのためには、どのような実施体制を構築していくのか、充実したものになるよう検討頂きたい。 パブリックコメントでは色々と意見が出ており、特に興南高校の生徒が数多く案を出しているようだが、これは何故なのか教えて頂きたい。
総務課教育 企画班指導 主事	興南高校にあります「よのなか科」という授業の中で、沖縄県教育委員会が新しく教育振興基本計画を策定するという事を取り上げたようです。そこで、興南高校の先生が生徒へ、今後10年間、沖縄県の教育がどのようになったら面白いのか、楽しいか、このような事が出来たらいいなというものがあるかと投げかけましたところ、生徒から意見が寄せられまして、その意見を選定しパブリックコメントとして投稿していただいたという経緯でございます。
安里委員	パブリックコメントを読むと、大人には発想もつかないような事案、例えば修学旅行の無償化など、無理だろうと思ってしまうようなことでも、子ども達が率直に要望している案は大変参考になると感じた。 今回、県内の学校の子どもの視点から、今、子ども達がどのような事を考えているのかを知る素晴らしい機会になったと思う。計画（案）については将来的に改訂をすることがあると思うが、次回以降はこのような制度を活用して子ども達の生の声を聞くというのも一つの手段にして頂きたい。 また、最後にパブリックコメントには厳しいコメントも見受けられ、その全てが当たっているかという疑問に思う節もあるが、県民が学校教育に対して、あるいは県教育委員会に対してどう思っているのかがコメントに現れていると思う。ぜひこれからは、教育環境の充実を図るためにも、このような意見を持った県民がいるのだという事を常に頭に入れながら、施策に取り組んで頂きたい。
委員長	とても大事なことだと思えます。「計画を策定しました、このとおりです」で終わってはならないわけで、やはりパブリックコメントで色々な要望が出てきますので、いかにその意見に答えられるように事業を展開していくかを考えなくてはなりませんね。 要は計画はマニフェストですよ、ですから沖縄県には、ぜひ当計画を実行して頂きたいと思えます。

	<p>また、私はここに記載されていないことも大事な事項は積極的に取り上げて頂きたいと思います。例えば計画の中の大学の項目は、ほとんどが県立大学についての記述になっていますが、これだけでは十分ではないと考えます。</p> <p>沖縄には立派な私立大学もありますし、かつての国立大学もあります。何よりも大学院大学という世界に一つ、世界のトップを目指す大学もありますから、そのような機関ともいかに連携をとっていくかが大切になるので、（計画（案）においては）そのような機関を除外してはいけなないと考えます。</p> <p>沖縄の未来をつくる人づくり、英知を結集してあくまでも基本に忠実に、さらにそれを膨らませていくということを、ぜひ皆で認識して取り組んでいければ20年後の沖縄の教育界も明るいのではないのでしょうか。</p>
新垣委員	<p>食育に関して、平成17年度に食育基本法が制定され、指導要領にも（食育について）記載されている。しかしながら、どこの学校も肝心の教育目標のところには食育の文言がないように見受けられる。</p> <p>児童保護者にも食育の推進として「朝食をしっかりと食べましょう」と、色々な呼びかけを行っているが、なかなか学校の教育目標には「食」が位置づけられていない。でもしっかりと取り組みはなされている。教育目標は「知・徳・体」のイメージが強いと思うが、目標の一つに「食育」を取り入れるような雰囲気作りをして頂きたい。</p>
委員長	<p>大切なことだと思います。</p> <p>他にございませんか。</p>
中野委員	<p>総論の「7新しい時代を展望した教育行政の充実」では「沖縄21世紀ビジョン等との関連や教育諸施策の効果的推進などを示した」とあるが、この計画を推進するためには、全教育機関を網羅し、ネットワークを組まなければならないと考える。</p> <p>今回の計画では、総論と各論とあるが、プラスアルファでも良いので、沖縄工業高等専門学校、大学院大学や専修学校などの機関を全部網羅したような体系作りを、他の部局と計画を推し進める中で、強調して頂きたい。</p>
委員長	<p>中野委員からの建設的なご意見でした。</p> <p>当計画はとても力作だと思いますので、当計画を皆で推進するために機運を盛り上げていきたいと思います。</p> <p>他にございませんか。</p> <p>（しばし間があり）</p> <p>では、このとおり決定してよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>異議なし。</p>

委員長

このとおり決定します。
休憩します。

(以下は非公開部分のため、省略します)